

大三島 みんなのワイナリー TIMES

Vol. 2

2016.11

葡萄の成長の様子を お届けします。

今年3月に苗木オーナーの皆さんと植えた葡萄（マスカット・ベリー A）が9月に無事収穫されました。葡萄の成長の様子や畑で起きた数々のドラマをご報告いたします。



運営事務局長
川田佑輔



「大三島みんなのワイナリー」とは

農家さんの高齢化で荒れてしまった大三島（おおみしま）のミカン畑をワイナリーの葡萄畑として甦らせるプロジェクトです。代表はこの島にミュージアムを持つ建築家の伊東豊雄（いとう・とよお）。島の農家さんやこの島に魅かれてやってきた移住者、活動を応援して下さる皆さまの協力により、運営されています。



現在の葡萄畑はこんな感じ

畑の場所 大三島の中でも日当たりが良く、心地よい潮風の当たる瀬戸・出走（ではしり）エリア 広さ 4反
品種 白ワイン用のシャルドネ、赤ワイン用のマスカット・ベリーAなど約30種類

6月

笠懸け
梅雨時に怖いのが黒痘（こくとう）病。実に黒い点ができ、そこから破れてしまうのです。防止のために、口ウを塗った紙をかぶせる「笠懸け（かさかけ）」を行いました。これは実に水滴が付くのを防ぐため。笠は収穫のときまでずつと葡萄を守ってくれます。



5月

誘引、開花、結実
5、6月は葡萄の成長期。芽が伸びてきた木から、用意しておいた垣根に誘導（誘引）しました。葡萄の花は、房の粒がなる場所に1つずつ付くのですが、雄しべと雌しべは「花びら」ではなく帽子のような「キャップ」に包まれています。キャップが取れると開花。決して派手ではありませんが、「大切に実を結びたい」という葡萄の気持ち伝わってくるようです。下の写真は、愛でたく結実したところ。

芽吹く
桜のシーズンも終わった4月上旬、ベリーAの苗木に愛らしい新芽が現れました。実は、この赤ワインを連想させるピンク色は、新芽の時だけに見られる貴重な姿。成長と共に緑色に変わっていきます。



4月



今期を振り返って…そして来期の抱負

本格的に葡萄栽培が始まった1年目。今年は雨が降る時期と降らない時期が極端で病気予防に苦労したり、イノシシ被害にあたり、頭を抱えた時期もありましたが、苗木が立派に成長してくれているので一安心です。来年はもっと収量を増やして、ジュースづくりにも挑戦したいです。そして再来年までには、念願のワインを！

川田佑輔

9月

収穫
イノシシの襲撃から生き残った葡萄たちを収穫しました。予想収量の10分の1となってしまうましたが、味はとっても甘くて醸造用の葡萄としても上出来！これらはまず、12月にジャムになる予定です。



8月

猪被害
これから収穫——という準備をしていた矢先。島の農家さんを悩ませているイノシシの被害に、葡萄も遭ってしまいました。鉄や電気ショックの柵で畑を囲っていたのに、簡単に突破されてしまいました。食べられた数は、なんと300房。本当に悔しかった……。来年はより一層、念入りな対策が必要となります。



7月

実の成長・成熟
7月下旬、房の上の方からだんだん色付いてきます。皮やタネからワイン独特の味（タンニン）を引き出すため、ワイン用の葡萄は皮が厚くてタネがあり、実が小さい方が重宝されます。収穫が待ち遠しい！



今後の予定

2017年	2016年
3月	10月
2月	11月
12月	

新植祭
苗木の植え付け
資材の組立て
新しい畑の開墾
草刈り・防除

川田くんの日常

① 坊主になりました!

はじめまして、川田佑輔です。ソムリエをやっています。ワイン、愛しています。

今日も海がきれいだし...

最近、坊主デビューをしたのですが...

ワインバルではもっぱら「住職」と呼ばれています(泣)



旧法務局の建物をリノベーションした、どこか懐かしさを感じる空間。



常時10種類以上のワインを揃えています! グラス 400円~ ボトル 2,800円~



島ならではの新鮮食材をメニューに取り入れることも。お楽しみに!

パーティなどのご利用もいただけます!

大三島みんなのワインバル
 営業日：金曜日・土曜日 18時~21時
 愛媛県今治市大三島町宮浦 5562 番地
 「大三島みんなの家」内
 電話：0897-72-9377
 メール：info2015@ohmishimawine.com

こんなイベント
やりました!



cheeseの会レポート

去る7月には、フランスのマルシェから届いたフレッシュチーズを楽しむ「フランスチーズとワインの夜」を開催しました。ヤギのチーズや香りの強いウォッシュタイプといった珍しいチーズとワインとのマリアージュを堪能。フランスにまつわる話や思い出話などに花を咲かせる夜となりました。

今後は12月にブラジル料理のシェフを招いて「ブラジルナイト」といった企画も予定しています。皆様のご参加をお待ちしています!

ソムリエ資格を持った川田佑輔が、あなたに合ったワインをご提案しますよ。



大三島みんなのワインバルとは、こんなお店。

「大三島みんなのワイナリー」が運営する、皆さんにワインを気軽に楽しんでいただくためのお店。大山祇神社の参道にある「大三島みんなの家」内で週末の夜に営業しています。ワインを囲む豊かな時間を提案する場として、趣向を凝らした様々なイベントも開催しています。

「ターンで大三島に来て14年目。なのに、いまだに毎日新鮮な林です。」
 今は、島の祭ウィークが終わってホッとしているところ。島には13もの集落があるのですが、私の住む宗方地区では、9月18日に「8月の祭り」(旧暦8月15日に行われるため)と呼ばれる秋祭りが催されました。今年は「奥丁(かいちょう)」という神輿を担ぐ御役をいただきました。同じ御役でも地域で呼び方が違い、大山祇神社では「御輿」と呼ばれます。宗方地域の祭りでは夜に「にわか」という大阪吉本顔負けの大演芸大会が催され大変賑やかです。祭りは見るより参加する方が絶対に楽しいですね。皆さんもぜひ遊びに来てください!



吉本芸人顔負けのお祭り!
 文・林豊 (写真中央)
 「大三島みんなのワイナリー」共同代表



ワインについて日ごろのちょっとした出来事・感じたことを川柳にしてお送り下さい。応募された作品の中から1名に、川田ソムリエ特選のワインまたはジュースを1本プレゼントいたします! 奮ってご応募ください!

募集期間：2016年10月25日~2017年2月28日
応募方法：お名前、ご住所、電話番号、川柳を明記の上、ハガキかファクス、メールにてお送りください。
宛先：ハガキ (〒794-1304 愛媛県今治市大三島町宮浦 5562 大三島みんなの家「ワイン川柳」係宛)
ファクス：0897-74-1318
メール：info2015@ohmishimawine.com
 応募の中から数点を、お名前と共に次号のワイナリーTIMESに掲載する予定です! 当選者には事務局からご連絡します。お楽しみに。

ワイン川柳 大募集
 賞品には川田ソムリエ特選のワインorジュース

「寡黙な農夫たち」とあるフランス料理店で『栃木で作っているワインなんですけど』と勧められた白ワインを一口飲んで、その瑞々しい美味しさに驚いたのは20年以上前のことだったろうか。当時の日本のワインは、残念ながら現在のような本格的なレベルには達しておらず全く期待はしていなかった。驚きは尚更だった。

聞けば足利にある「こころみ学園」という施設の知的障害を持った方々が土地を開墾し葡萄を栽培、畑の管理まで担っているとのこと、二度驚き、また、心から感動した。

「寡黙な農夫たち」(とワイナリーでは呼ばれているらしい)が丹精込めて作った葡萄。そのひたむきな愛情がしみじみと伝わってくる。ワインの味はいは、しばしばその土地の土壌や気候を反映すると言われているが、「ワインはまた人也」なのだ。我が川田氏が日々悪戦苦闘しながらも愛情を注いで育てている大三島の葡萄から醸されるワインも、心の琴線に響くようなワインになりますように、乾杯!



文・伊東洋子
 「大三島みんなのワイナリー」共同代表



新規会員を募集します!

苗木オーナー 第2期会員 来春より新規募集を開始します。詳細は info2015@ohmishimawine.com までお問い合わせください。